



社団法人 茨城県放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町 1918 茨城県総合福祉会館内 発行責任者：横田 浩 編集：小原 孝夫
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

《 第6回理事会報告 》

開催日時：H23年5月11日(水)18:10～

場 所：茨城県放射線技師会事務所

出 席：横田浩，長谷川光昭，鈴木達也，
平井正幸，小原孝夫，會澤敏広，
小仁所圭子，佐藤斉，田中信一，
野澤哲也，川又誠，坂井朋夫，
広瀬和夫，館野誠，宮本勝美，
村木一夫，波多野浩嗣，仲田智彦，
千葉登，

委 任：風見ひろみ

欠 席：田尻明裕

議 長：横田浩

議事録作成：長谷川光昭

議事録署名人：小原孝夫，平井正幸

会議開始時点出席理事14名，委任1名で理事
会開催規定を満たすことが宣言され，議事
に入った。

【議事】

【1】会長報告（横田会長）

- ・ 日放技では、東日本大震災における福島第一原発被災に対し地震災害対策本部を設置し、3月16日から4～5名のサーベイボランティアを派遣している。
- ・ 茨城では県から技師会にサーベイの依頼が来たが、被災地ということもあり、4名の技師を派遣するに留まった。今後、他地域での災害を想定した場合、派遣するのであれば勤務している施設・病院との事前の話し合いをしておかなくては身動きが取れないと思う。今後の課題である。
- ・ 千葉県で注腸検査についてのなにかしらの事件があったらしく、保健所のみならず警察まで巻き込んでいるらしいが、議事録からでは詳細は不明である。日放技に問い合わせる。
- ・ 読影に関する本会の基本方針について：本会のスタンス3点（勤務医の負担軽減、医療安全、読影のダブルチェック）から、今後、日本医学放射線学会、日本放射線技術

学会と検討していく。

- ・ 放射線医薬品の製剤について核医学会、薬剤師会、核医学技術学会、本会で協議をし、ガイドラインを現在、作成している。核医学会が認めた団体が研修会を開催し受講した診療放射線技師が診療補助行為として放射性医薬品の調剤を行えるようにしていく。
 - ・ 事務所移転については予算削減のために移転を考えたが、世界貿易センタービルから賃貸料を1,500万円下げるとい話しが持ち上がり、移転購入するより、留まったほうが負担が少ないため再契約した。
 - ・ 臨床実習生のX線照射行為に関する検討委員会を設立し、実習生のX線照射行為について検討していく。
 - ・ 種々ある認定技師について、本会が主導的に各団体と話し合い、広告できる形として、各認定技師の資格を統一したものを構築していく。
 - ・ 日放技の基礎講習は、本年度は茨城開催はないが来年度、開催する予定である。また、基礎講習については、各認定機構で開催するようになる。
 - ・ 日放技の代議員については、新潟県のみ選挙を行った。
 - ・ 日放技の新人対象のフレッシュャーズ・セミナーを各県技師会で開催することとなった。茨城では7月ごろに開催するよう検討している。経費は日放技で持つ。内容は、医療安全講座60分、感染対策講座60分、エチケットマナー講座30分、気管支解剖講座120分、計4時間半行う。新人で技師免許取得した受講者には記念品が出る。
- ##### 【2】予算・決算総会について（横田会長）
- ・ 3月11日の東日本大震災のため、3月20日に開催予定であった第31回学術大会は中止となった。それに伴い、23年度予算総会も開催できていないため、6月19日茨城県総合福祉会館4F会議室において22年度決算総会と23年度予算総会を開催する。また、あわせてランチ形式の技

術セミナー（最新の FPD について）を 3 社（コニカミノルタ・富士フィルム・ケアストリームヘルス）に依頼した。23 年度予算は、かなりの赤字予算となっているがそれでよいのか。（田中理事）

収入については会員が 100 名程減少してきているが、公益法人化のため事業費を大幅に減らすことが難しい。積み立てを 180 万円ほど取り崩しているのもこのままでは 5~6 年でなくなるため会員を増やす努力と事業費の見直しを行っていくことを会員に説明していく。（川又理事）
理事会についても現在 2 ヶ月に 1 回であるが 3 ヶ月に 1 回にする。（横田会長）

・・・承認

【3】日放技教育委員研修会報告

（川又理事・日放技教育委員）

4 月 30 日に教育委員研修会が行われ全国より 64 名の各県技師会の教育委員が参加した。中澤会長より挨拶がありそのなかで今回の大震災で会員 4 名が亡くなられたと報告した。また、日放技では諸澄、渡邊会員が放射線についてのコメンテーターとしてテレビ、ラジオ 10 数回出演した。24 年度から新しい教育制度が始まる。文科省には医療機器全般にわたる安全管理を、厚労省には重要な医療機器に CT、アンギオ、放射線治療を含めた管理を盛り込んでいくよう要望した。生涯学習のシステム枠組みが平成 23 年度から変わる。国際認定 (CT、MR、超音波) は翻訳とかお金がかかるためやめる。癌医療、画像検像、読影を重要視していく。認定の変更で医療画像情報管理士は医療診断情報管理認定技師となる。

基礎講習はブロックごとに担当を決め、北関東は今回新潟の本望さんが担当なので教育委員からは同じ新潟の弦巻正樹さんに代表委員になってもらった。各認定資格失効者が 500 名以上いるため対象者に対して講習会を行う。CT については認定機構で行っていく (JART では今後行わない)

5 月より会員データベースシステムが更新され、会員ログインはメールアドレスの登録が必要でメールアドレスは一人につき一つとする (携帯メールでも可)。職場のアドレスを数人で兼用する事は出来ない。また、ベーシックカードは会員全員に配布していく

【4】事務局より（仲田理事）

・技師会事務所のパソコンを更新した。

【5】公益法人申請書（川又理事）

・公益法人申請書（案）が提出された。公益法人準備委員にメールで配布し、5 月 20 日までに訂正箇所等を検討していただく。

・・・承認

【6】学会会議（鈴木副会長）

・第 31 回学会大会は震災のため中止となった。23 年度学会大会は 3 月 11 日 (日) に予定する。例年通りのタイムスケジュールで準備を進めていく。また、明日 12 日に学会会議を開催し、23 年度の各事業費の仮払いを行う予定である。

・関東地区で 5 月 13 日にシンポジウムを開催する。（田中理事）

・・・承認

【7】つくばピンクリボンフェスティバル

2011 報告（坂井理事）

・5 月 8 日 (日) につくばピンクリボンフェスティバル 2011 が開催され技師会では 31 名がボランティアとして参加した。技師会のロゴ入りのベストは好評だった。技師会ブースには 100 名ほどの市民がみえ、用意した粗品はすべてなくなった。（千葉理事）

【8】レディース委員会より（小仁所理事）

・23 年度のイエローリボン事業、手話講習会と親睦会について理事会の承認を得たい。

・・・承認

【9】財務より（川又理事）

・総会資料として 22 年度予算は旧書式で、決算が公益に伴う新書式であるため比較しづらい。会員に十分な説明をする。また、23 年度予算書は 3 月に配布したのものを使う。

・・・承認

【10】その他（横田会長）

・23 年度より会費は本部一括納付となり、県技師会に所属していないと日放技に入会出来なくなる。

・青森の全国資料放射線技師総合学会の参加登録券がまもなく届く。

以上の議事がなされ議長が閉会を宣言した。
次回開催 7 月 13 日 (水) 18:00~

《 お知らせ 》

1. 決算総会並びに予算総会無事終了

6月19日県総合福祉会館において平成22年度決算総会並びに平成23年度予算総会を開催しました。6月19日現在で会員数650名、出席47名、委任355名で本総会の成立が宣言されました。賛成多数で全ての議案が可決されました。また、公益法人取得に向けた定款改定(案)も承認いただき、今後手続きを進めてまいります。認可まで約1年かかる見通しです。



《 お知らせ 》

1. フレッシュアップセミナー開催のご案内

新年度を向かえ日本放射線技師会と茨城県放射線技師会は共同して、新人診療放射線技師を対象としたフレッシュアップセミナーを下記のとおり開催することとなりました。本セミナーの特徴は、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナーを学ぶだけでなく、診療に対応できる新人診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の習得を目的として開催します。

貴施設に入職された新人診療放射線技師がおられましたら、フレッシュアップセミナーへの参加をお勧め願いたいと存じます。また、参加希望があれば特に経験年数は問いません。未入会の方も歓迎いたしますので、ご多忙中とは存じますが、よろしくご配慮いただきますようお願い申し上げます。

名称：診療放射線技師のための
フレッシュアップセミナー

開催日：平成23年7月10日(日)
13時から18時まで

開催場所：茨城県立医療大学 112中講義室
問合せ：茨城県放射線技師会事務所

2. HP委員会

茨城県放射線技師会ホームページアクセスに関してホームページ内の資料ダウンロード、掲示板、申し込みフォームについては会員専用となっております。アクセスには以下のユーザーID・パスワードが必要になります。

尚、ユーザーID・パスワードは会員以外には知られませんように自己管理をお願い致します。

ユーザーID	iart
パスワード	ndd60

《 行事報告 》

1. ピンクリボンフェスティバル開催報告

5月8日(日)母の日に、つくばピンクリボンフェスティバル2011がつくば国際会議場で、茨城県放射線技師会の共催で開催されました。

当日は晴天にも恵まれ、614名の参加者が集い、バルーンパフォーマンス・記念ウオーク展示会場等のイベントは大いに盛り上がり、午後から行われた昭和大学医学部乳腺外科教授中村清吾先生の講演「乳がんの予防から治療まで」は会場に入りきれないほどの盛況裡に終了しました。



茨城県放射線技師会からも 31 名の会員が運営ボランティアとして、早朝より風船の準備・ウオークの誘導・展示会場での放射線展に積極的に活動し、フェスティバルの成功に大きく貢献しました。ボランティアとして参加して下さった会員の皆様、本当にご苦労様でした。 報告者 坂井朋夫



《 会 員 動 向 》

平成 23 年 6 月 23 日現在の会員数… 6 5 3 名
新入会員

伊藤 薫	土浦協同病院
田所 俊介	(株)日立製作所 ひたちなか総合病院
村松 映実	つくばセントラル病院

2. 第 2 回乳腺研究会

6 月 18 日県立医療大学中講義室において第 2 回乳腺研究会を開催しました。委員によるフレッシューズセミナー 2 題、技術情報提供「フォトンカウンティング技術」について、特別講演として、筑波大学的那須先生による、「今日の乳腺ルーチン MRI に求められる Minimum essential」と題し講演いただきました。当日は 53 名(会員 44 名、非会員 9 名)の参加があり、盛況裡に開催することができました。次回は 12 月頃の予定です。また、(精中医)MMG 講習会を H24 年 3 月 17、18 日に開催予定ですので、ご参加よろしくお願ひ致します。



①入会手続きについて、入金の確認できずにまだ入会完了できない方がおります。後輩で入会手続きされたのをご存知の方は一声掛けて入金をして頂くようお願いいたします。

②会員の登録内容変更は、日本放射線技師会ホームページから変更手続きをお願い致します。施設変更・自宅住所変更・名前変更・技師会変更、(転勤された時も同様です)

インターネットが利用できない方は、必ず FAX で茨城県放射線技師会へ送信して下さい。茨城県放射線技師会事務所

FAX 029-244-6767

《 編 集 後 記 》

各地で放射線量の測定が盛んに行われています。住民の不安解消のためには必要とは思いますが、個人で測定するものではなく、自治体等が責任をもって測定し、公開していけば良いと考えています。簡易の測定器もあるようですが、どの程度まで計測できるのか？ しっかり、理解した上で測定する必要があります。放射線技師として何かできる事があれば積極的に関わっていく必要があります。編集委員：小原孝夫(多賀総合病院), 齋藤哲也(土浦協同病院), 島田雅彦(水戸済生会総合病院)、水木一弘(筑波大学附属病院), 佐々木雅一(日立総合病院), 奥山寿恵(日立総合病院)